

# 都市再生整備計画 事後評価方法書

ひらふ<sup>こうげん</sup>高原地区

平成30年6月

北海道倶知安町

(このページは、提出の際には添付する必要はありません。)

## 目 次

(1) 成果の評価.....	2
1) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況.....	2
2) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測.....	5
(2) 実施過程の評価.....	6
1) モニタリングの実施状況の確認.....	6
2) 住民参加プロセスの実施状況の確認.....	6
3) 持続的なまちづくり体制の構築状況の確認.....	6
(3) 効果発現要因の整理.....	7
(4) 今後のまちづくり方策の作成.....	7
(5) 事後評価原案等の公表.....	7
(6) 評価委員会の審議.....	7
(7) その他の機会における有識者からの意見聴取の予定.....	7
(8) 事後評価に必要な経費に関わる予算措置の状況.....	7

### ※ 記入にあたっての留意事項

方法書提出様式の記入にあたっては、下記の点に留意してください。

1. 事後評価ならびにフォローアップの作業が円滑かつ確実に進められるよう、事後評価に関わる各評価項目の計測又は確認の時期、主体、手法等を具体的に記載してください。
2. 記入項目の詳細や記入例については「方法書作成の手引き」を参照してください。
3. 数値及び文章は、適宜、欄(枠)を拡張するなどして記入してください。

**(1) 成果の評価****1) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況****指標 1 : 地区内定住人口増加率****A : 事前評価時の『従前値』の求め方**

①従前値の基準時点	住民基本台帳（平成24年12月31日時点）
②実施主体	観光課、まちづくり新幹線課
③計測手法	・住民基本台帳より平成23年1月～12月までの対象地域における字別の定住人口（月平均）と平成24年1月～12月までの対象地域における字別の定住人口（月平均）から定住人口増加率を算出した。

**B : 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方**

④計測時期	住民基本台帳（平成30年12月31日時点）				
⑤実施主体	観光課、まちづくり新幹線課				
⑥データの計測手法	・住民基本台帳より平成29年1月～12月までの対象地域における字別の定住人口（月平均）と平成30年1月～12月までの対象地域における字別の定住人口（月平均）から定住人口増加率を算出する。				
⑦評価値の求め方	住民基本台帳により、地区内の1年間の平均居住人口の増加率（前年対比）を算出し、評価値とする				
⑧確定／見込みの別	<table border="1"><tr><td><input type="radio"/></td><td>確定</td></tr><tr><td><input type="radio"/></td><td>見込み</td></tr></table>	<input type="radio"/>	確定	<input type="radio"/>	見込み
<input type="radio"/>	確定				
<input type="radio"/>	見込み				

**C : フォローアップ時の『確定値』の求め方**

⑨フォローアップの必要性	<table border="1"><tr><td><input type="radio"/></td><td>あり</td></tr><tr><td><input type="radio"/></td><td>なし</td></tr></table>	<input type="radio"/>	あり	<input type="radio"/>	なし
<input type="radio"/>	あり				
<input type="radio"/>	なし				
⑩計測時期					
⑪実施主体					
⑫計測手法					

<b>指標 2 :</b>		<b>再来訪意向率</b>	
<b>A : 事前評価時の『従前値』の求め方</b>			
①従前値の基準時点	外国人観光客 CS (Customer Satisfaction : 顧客満足) 調査の結果 (平成 21 年 1 月時点)		
②実施主体	観光課、まちづくり新幹線課		
③計測手法	ニセコエリアのスキー場の 4 カ所のレストラン・カフェにおいて、レストラン・カフェ利用の外国人観光客を対象とした外国人観光客顧客満足調査 (アンケート調査) による。		
<b>B : 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方</b>			
④計測時期	外国人観光客 CS (Customer Satisfaction : 顧客満足) 調査の結果 (平成 30 年 1 2 月時点)		
⑤実施主体	観光課、まちづくり新幹線課		
⑥データの計測手法	ニセコグラン・ヒラフスキー場の 2 カ所のレストラン・カフェにおいて、レストラン・カフェ利用の外国人観光客を対象とした外国人観光客顧客満足調査 (アンケート調査) による。なお、従前値はニセコひらふ高原地区以外のスキー場のレストラン・カフェも調査対象としていたが、本計画の効果測定のため計測箇所数をニセコひらふ高原地区のスキー場のみに変更するもの。		
⑦評価値の求め方	ニセコエリアの外国人旅行者の再来訪意向 (「絶対来る」「きっと来る」の合計) 率を算出		
⑧確定/見込みの別	<input type="radio"/>	確定	
	<input type="radio"/>	見込み	
<b>C : フォローアップ時の『確定値』の求め方</b>			
⑨フォローアップの必要性	<input type="radio"/>	あり	
	<input type="radio"/>	なし	
⑩計測時期			
⑪実施主体			
⑫計測手法			

<b>指標 3 :</b>	<b>満足度評価点</b>	
<b>A : 事前評価時の『従前値』の求め方</b>		
①従前値の基準時点	外国人観光客 CS (Customer Satisfaction : 顧客満足) 調査の結果 (平成 21 年 1 月時点)	
②実施主体	観光課、まちづくり新幹線課	
③計測手法	ニセコエリアのスキー場の 4 カ所のレストラン・カフェにおいて、レストラン・カフェ利用の外国人観光客を対象とした外国人観光客顧客満足調査 (アンケート調査) による。	
<b>B : 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方</b>		
④計測時期	外国人観光客 CS (Customer Satisfaction : 顧客満足) 調査の結果 (平成 30 年 1 2 月時点)	
⑤実施主体	観光課、まちづくり新幹線課	
⑥データの計測手法	ニセコグラン・ヒラフスキー場の 2 カ所のレストラン・カフェにおいて、レストラン・カフェ利用の外国人観光客を対象とした外国人観光客顧客満足調査 (アンケート調査) による。なお、従前値はニセコひらふ高原地区以外のスキー場のレストラン・カフェも調査対象としていたが、本計画の効果測定のため計測箇所数をニセコひらふ高原地区のスキー場のみに変更するもの。	
⑦評価値の求め方	ニセコエリアの外国人旅行者の「自然景観・町並み」満足度評価点を算出	
⑧確定/見込みの別	<input type="radio"/>	確定
	<input type="radio"/>	見込み
<b>C : フォローアップ時の『確定値』の求め方</b>		
⑨フォローアップの必要性	<input type="radio"/>	あり
	<input type="radio"/>	なし
⑩計測時期		
⑪実施主体		
⑫計測手法		

**(1) 成果の評価**

2) その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現の計測

**数値指標：** 外国人観光客宿泊延数**記述理由** 外国人の再来訪意向及び満足調査を補完する資料とする**A：事前評価時の『従前値』の求め方**①従前値の  
基準時点 外国人観光客宿泊延数（平成 25 年度）

②実施主体 観光課

③計測手法 訪日外国人宿泊者数調査による

**B：事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方**

④計測時期 外国人観光客宿泊延数（平成 29 年度（平成 30 年 5 月集計終了））

⑤実施主体 観光課

⑥データの  
計測手法 訪日外国人宿泊者数調査による⑦評価値の  
求め方 倶知安町への外国人観光客の宿泊延べ数を求める⑧確定／見  
込みの別  確定  
 見込み**C：フォローアップ時の『確定値』の求め方**⑨フォローアップ  
の必要性  あり  
 なし

⑩計測時期 外国人観光客宿泊延数（平成 30 年度（平成 31 年度 5 月集計終了予定））

⑪実施主体 観光課

⑫計測手法 訪日外国人宿泊者数調査による

## (2) 実施過程の評価

### 1) モニタリングの実施状況の確認

#### A: 都市再生整備計画への記載状況および実施状況

- ア 都市再生整備計画に実施することを記載した  
 イ 都市再生整備計画に記載しなかった  
 ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した

#### B: 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)

なし

#### C: 事後評価時の確認方法

①時 期

②確 認 先

③確認方法

### 2) 住民参加プロセスの実施状況の確認

#### A: 都市再生整備計画への記載状況および実施状況

- ア 都市再生整備計画に実施することを記載した  
 イ 都市再生整備計画に記載しなかった  
 ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した

#### B: 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)

基幹事業である観光中核施設整備事業に関して、平成28年7月に2回住民参加型のWSを実施し、建物内部や外観、敷地の使い方等について検討を行った。

#### C: 事後評価時の確認方法

①対 象 みんなで考える観光中核施設！ワークショップ

②時 期 交付終了年度 (平成31年3月時点)

③確 認 先 観光課

④確認方法 ワークショップの議事録等により、住民参加プロセスの実施状況を確認する。

### 3) 持続的なまちづくり体制の構築状況の確認

#### A: 都市再生整備計画への記載状況および実施状況

- ア 都市再生整備計画に実施することを記載した  
 イ 都市再生整備計画に記載しなかった  
 ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した

#### B: 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)

ひらふ高原地区のまちづくり検討を目的とした組織である「国際リゾート都市づくり検討会」において、観光中核施設の整備を中心として、ひらふ高原地区のまちづくりに係る取組の検討を行った。

#### C: 事後評価時の確認方法

①対 象 国際リゾート都市づくり検討会

②時 期 交付終了年度 (平成31年3月時点)

③確 認 先 観光課、まちづくり新幹線課

④確認方法 会議資料、議事録等により、体制の構築状況を確認する。

<b>(3) 効果発現要因の整理</b>	
①時 期	平成31年1月
②実施主体	観光課、まちづくり新幹線課
③検討体制	観光課、まちづくり新幹線課を中心に、交付金対象事業の庁内関係部局を招集し、協議により整理する。

<b>(4) 今後のまちづくり方策の作成</b>	
①時 期	平成31年1月
②実施主体	観光課、まちづくり新幹線課
③検討体制	観光課、まちづくり新幹線課を中心に、交付金対象事業の庁内関係部局を招集し、協議により整理する。

<b>(5) 事後評価原案等の公表</b>		
	原案の公表	評価結果(最終)の公表
①時 期	平成31年1月	平成31年3月
②実施主体	観光課、まちづくり新幹線課	観光課、まちづくり新幹線課
③公表方法	町ホームページ及び観光課窓口における閲覧	町ホームページ及び観光課窓口における閲覧

<b>(6) 評価委員会の審議</b>	
①時 期	平成31年2月
②実施主体	観光課、まちづくり新幹線課
③設置・運用方法	町において要綱を定め、設置・運用を行う。

<b>(7) その他の機会における有識者からの意見聴取の予定</b>	
①聴取方法	

※(3)～(6)の検討以外に市町村で任意に有識者から意見聴取を予定する場合に記入

<b>(8) 事後評価に必要な経費に関わる予算措置の状況</b>	
①予算措置の状況	ア <input type="checkbox"/> 費用は発生しない イ <input checked="" type="checkbox"/> 費用は発生するが、予算措置を講じている ウ <input type="checkbox"/> 費用は発生するが、予算措置は講じていない エ <input type="checkbox"/> その他 ( )



都道府県名	北海道
市町村名	倶知安町
地区名	ひらふ高原地区
計画期間	平成 26 年度～平成 30 年度
作成者	部署 観光課
	役職 係長
	氏名 沼田 尚也
連絡先	T E L 0136-23-3388
	F A X 0136-23-3399
	E-mail numata.naoya@town.kutchan.lg.jp